

| | | | | |
|---|--|------------------------|---------------------|-----------------------|
| カリキュラム Curriculum | 文学研究科MC | | ナンバリング Numbering | |
| 番号 Number | 科目種別 / 学科目 Course title | 転用科目 Substitute for | | 種別 Subject type |
| 307 | 日本文学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Literature> | | | 講義 |
| 専攻 Major | 担当教員 Instructor(s) | | 開講期 Semester | 開講時間帯 Day and time |
| 日本文学 | 甘露 純規(KANRO Junki) | | 前期 | 火曜：2限 |
| 講義題目 Title | 近代文学とオリジナリティ | | | |
| 単位 Credit | 2 | | | |
| 備考 Others | | | | |
| 履修条件 注意事項 Requirements for registration | 4回目の授業までに、シラバスに記入された作品は、全て読んでおくことを履修条件とする。基本的に講義形式をとるが、時に指名して意見を聞くことがある。 | | | |
| 授業の目的 Purpose | 近代文学史上重要な役割をはたした小説を、履修者が当時の文化的状況と照らし合わせて読むことにより、近代文学の基礎概念についての知識を習得できる。合わせて近代の出版文化についての知識の習得もできる。 The aim of this course is to acquire knowledge about the basic concepts of modern Japanese literature, by reading some important novels with reference to the cultural situation of the time. | | | |
| 授業の内容 授業の方法 Content | 第1回・履修についてのガイダンス 第2回・近代の出版文化：近世の出版について 第3回・近代の出版文化：活字印刷の影響について 第4回・三遊亭円朝「怪談 牡丹灯籠」を読む：近世の物語創作法について 第5回・三遊亭円朝「怪談 牡丹灯籠」を読む：近世の物語創作法について 第6回・二葉亭四迷「浮雲」：怪談と言文一致運動について 第7回・二葉亭四迷「浮雲」：近代の心理描写について 第8回・近代の出版文化：女性作家と出版界 第9回・近代の出版文化：女性作家と出版界 第10回・樋口一葉「うもれ木」と幸田露伴「風流伝」：近代文学とオリジナリティ 第11回・樋口一葉「うもれ木」と幸田露伴「風流伝」：近代文学とオリジナリティ 第12回・樋口一葉「うもれ木」と幸田露伴「風流伝」：近代文学とオリジナリティ 第13回・樋口一葉「たけくらべ」と藤本夕麿「心中臈月雨」：作家の文体 第14回・樋口一葉「たけくらべ」と藤本夕麿「心中臈月雨」：作家の文体 第15回・試験と解説 | | | |
| 教科書 テキスト Textbooks | 三遊亭円朝『怪談 牡丹灯籠』（岩波文庫）、樋口一葉『にぎりえ・たけくらべ』（新潮文庫）。他に樋口一葉「うもれ木」、幸田露伴「風流伝」（全集あるいは文庫で読んでおくこと）。 | | | |
| 参考書 References | 特に指定しない。 | | | |
| 受講生の 自宅学習 Preparation and review | 授業期間内に、授業中に言及した作品を全て読了すること。 | | | |
| 成績評価の 方法と基準 Evaluation | 試験（80%）と平常点（20%）を総合して評価する。試験は、近代文学の基礎概念と出版文化の知識が習得できているかという授業目標の達成度合いで評価する。平常点は授業参加態度と授業中の提出物を鑑み、評価する。 | | | |

連絡方法
Contact
information

本務校（中京大学文学部）宛の書簡あるいはメール（jkanro@gmail.com）で連絡をとること。